

ごみのポイ捨てを無くす良い知恵を

5月になり、瑞穂の町にも花や緑がまばゆいほどになってきた。花の季節の到来で、朝夕の散歩がとても楽しい。私が歩くコースは、富士山を眺めるのにも向いているので、晴れた日にはこれを楽しみにしている。

さて、こんな楽しい散歩なのだが、実は最近とても気になっていることがある。それは、道路に散乱しているごみがとても多いことである。最も多いのが空き缶で、次にペットボトルである。中にはポリ袋に入れられた家庭用のごみもある。町民がわざわざ道に放置するはずもないので、これらのごみの大多数は、町民以外のものと考えてよいだろう。

先日の町民意識調査では、特にこの問題は入ってなかったが、住宅地以外の畑道等には、時々大型の家電製品も放置されていることがある。しかし、これらのごみを捨てている現場に出会うことはほとんどないのが現実である。「ごみはごみを呼ぶ」の言葉通り、八高線の線路際には、ごみ捨て場のようになってしまった場所もある。

ごみを片付けるのは当面の処理としてできることだろうが、しばらくすると、また同じような光景になっている。さて、この問題どうすればよいのだろう。各家庭でのごみの減量とは違って、なかなか難問だが、良い知恵は無いだろうか。自然あふれるわが瑞穂の町をごみの町にはしたくないものである。

小暮 彰

福祉バスを生活の一部に

町内を自転車で走っていると、最近導入されたという福祉バスをよく見掛けるようになった。近隣の市では、以前から福祉バスが走っているのを知っていたので、瑞穂町にも走らせたら便利なのではないかと日ごろ思っていた。それがやっと実現されたのだから、対象の高齢の方や障がいをお持ちの方などは利用登録をし、どんどん利用するべきである。

また、バスは無料で利用することができるということも魅力的である。民間のバスを利用すると、もちろんバス代が掛かり、料金も安いとは言いがたい。料金を支払う際も、小銭がなければ両替をしなければならず、面倒な手間が掛かる。それとは代わり、福祉バスはそのような面倒もなく、気軽に安心して利用することができるのでうれしい限りである。

バスの外観はとてもかわいく、大きさもちょうど良い。一目見ると、誰もが一度は利用してみたいと思うだろう。

バスに乗って、ぼんやりと窓から見える町の景色を見るのも楽しいものであり、また新たな町の発見ができる。

対象の方で、まだバスを利用されていない方は利用登録してみたいはかががですか。

岡田 千依

情報倶楽部 町内で活動している団体・サークルの情報提供 会員募集

社交ダンス

★少人数で基礎から練習します。
団体名 サークル スワン
日時 毎週金曜日
 午後7時～9時30分
場所 武蔵野コミュニティセンター
対象 町内在住の20歳以上の方
費用 月会費 3,000円
持ち物 ダンスシューズ
問合せ 堀 ☎578-1097

囲碁・将棋

★年配者はぼけ防止に、若者は頭の体操に参加してみませんか。
団体名 囲碁将棋愛好会
日時 毎週土曜日
 正午～午後5時
場所 瑞穂アパート第2集会所
費用 月会費 300円
問合せ 河口 ☎554-8324

ソフトテニス

★初心者大歓迎。随時体験できます(ラケットあります)。コーチ募集中。
団体名 瑞穂ジュニアソフトテニス
日時 土・日曜日、祝日
 午前中(週1回も可)
場所 町営庭球場
対象 小学生(男女問わず)
費用 月会費 700円
持ち物 ソフトテニスラケット、テニスシューズ
問合せ 渡辺 ☎556-6242
 ☎090-5793-9624

女子ソフトボール

★初心者歓迎。経験は問いません。
団体名 瑞穂フレンズ
日時 毎週土曜日
 午後2時～6時
場所 9丁目グラウンド(エコパーク横)
対象 18歳以上の方
費用 年会費 1万円
 (保険代を含む)
持ち物 グローブ、タオル、飲み物
問合せ 片倉 ☎090-1803-8431

みんなのページ ひゅーまん たうん

おたより
待つてまーす!

〒190-1292
瑞穂町
秘書広報課
係

住所・氏名・電話番号を明記してください。なお、ペンネームや匿名希望の方はご記入ください。
秘書広報課 ☎557-7497

こちら編集室

広報広聴係に配属されてからはや2カ月が経過し、初めての校正、初めての取材と、ドキドキ・ワクワクの日々を過ごしています。町の活動を少しでも皆様に分かりやすくお伝えしたいという思いで毎日取り組んでいます。今年の11月10日に瑞穂町は70歳を迎えます。記念イベントが毎月のように開催されるなど町を挙げてお祝いムード一色です。皆様の心に残る年になりましたらうれしいです。町のいろいろな場所で元気な笑顔にお会いできるのを楽しみにしています。
徳丸

子どもの成長と食育

特派員レポート ⑥

4月24日、三小で竹森美佐子先生の食育講座が開催され、保護者や地域の方々や家庭での大切な食事の取り方をお聞きしました。

子どもの心と体の疲れが目立つのは、視力の低下で小・中学生の近視率は50%といわれ、低体温で36度未満の子どもの割合は20%です。また、集中力に欠け、キレやすい子どもが増えるなど、心の問題も深刻化しているとのこと。

この対策として、食育の面から良い習慣を付けることが必要で、そのポイントは①偏食を直すこと。子どもは野菜や魚介類を嫌うので、食べたら褒めてあげる。でも、親の偏食を直すことが決め手。②肥満や貧血の要因になりやすいインスタント食品やスナック菓子はほどほど。

③子どもの味覚は敏感なので、薄味の習慣を。小学生の食塩摂取量は、1日11グラムで、大人の二分の一を目安にします。

健康な食生活とは、「伝統食のご飯、みそ汁、豆製品、野菜、魚介類、海藻類を中心に、早寝・早起き、朝ご飯」の生活のリズムで、子どもの学力は自然に伸びていくものと食育の基本をお聞きし、改めて食生活の重みを感じました。

加えて、先生が「早起きは音が聞こえる、朝日を浴びましょう」とおっしゃった言葉に、私の小学校時代が引き寄せられ、早朝のまな板の音、井戸をつく音、ツツバメの声を思い出し、心に帰る講座でした。

石川 朝子

大きな輪になった フリーマーケット

特派員レポート ⑦

今年は雨があつたり雪があつたりと寒さ続きの天候でしたが、4月になり、ようやく心地よい気温になりました。



4月18日のフリーマーケットは96店舗となり、大変な賑わいで会場が狭く感じるほどの出店がありました。この不況の中、皆さん少しでも節約できたらと思い、リサイクルに関心が出て回を重ねるごとに出店者が増えていきます。出店者多数で申し込みを締め切ることもあるとのことですが、大変うれしいことだと思っています。

始めたころは出店者もあまりなく、主催される方々の悩みだったと見受けられましたが、このように大勢の方の大きな輪が広がったことは、大いに心が持てたんだと思います。町民だけではなく、ほかの地域の方々との交流も町にとってもとてもいいことだと思っています。これからは気候もいい季節ですから、家族や友達も誘い合ってみてはいかがですか。ドッグランもいつも大勢の方でにぎわっています。少し足を伸ばして見学されると楽しみも倍になるのではないかと思います。次回は6月20日(日)です。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょう。出店者の方々、お疲れ様でした。

難波 睦子